

本学学生および卒業生のスポーツトレーナー養成の取り組み

— 障害者スポーツトレーナーの資格取得を目指して —

松井 康

筑波技術大学 保健科学部 保健学科 理学療法学専攻

キーワード：障害者スポーツトレーナー，テーピング，足関節内反捻挫

成果の概要

2020年に東京でオリンピック、パラリンピックが開催されることが決まっており、日本国内では、今後益々スポーツに対する関心が高まってくることが推測される。我が国では、2011年8月にスポーツ基本法が施行された。この法律で注目すべきことは、これまでのスポーツに関する法律であったスポーツ振興法にはなかった障害者スポーツの推進が明記されている点である。また、2012年3月にはスポーツ基本計画が発表され、そこでは障害者の体育、スポーツに関しても言及されている。これらの法律に則して障害者スポーツを推進するために必要なこととして、医学的知識に基づいた競技者の安全面の確保や、競技力の向上ために科学的根拠に基づいた支援が必要と考えられ、その役割の一翼をスポーツトレーナーが担う必要があると考えられる。

本学の第3期中期目標の前文には、医療・スポーツを通した障害児者の社会活動参加能力向上への支援に関する記載がある。第3期中期計画のI-1(3)-27 障害学生の職域拡大に関する項目の中に、視覚障害系においては、医療従事者としての就職に加えて企業等のヘルスプロモーション領域への職域拡大を図ると記載されており、またI-50には2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた医・科学的サポート支援、障害者スポーツの支援に関する内容が記載されている。本学の学生や卒業生がスポーツトレーナーに関する知識や技術を習得することにより、前述した内容の達成に寄与することができると考えられる。

障害者スポーツ協会公認の障害者スポーツトレーナーという資格がある。この資格を取得するためには、障害者スポーツ協会が開催する講習会を受講する必要がある。その講習会を受講する条件は二つあり、一つは日本体育協会公認のアスレティックトレーナーの資格を有していることである。もう一つの条件として、理学療法士や鍼灸・あんまマッサージ指圧師などといった医療資格を有し、かつ障害者スポーツの現場で二年以上トレーナーの経験を積んだもので、障

害者スポーツ団体の推薦を受けた者とされている。本学は視覚障害・聴覚障害者を対象としている我が国唯一の高等教育機関であり、障害者スポーツが盛んである。そのため、障害者スポーツの現場でトレーナーの経験することは比較的容易であり、かつ医療資格を取得できる専攻を有しているため、資格の取得を目指すことは可能である。2020年には東京オリンピック、パラリンピックが開催されることが決まっており、障害者スポーツトレーナーの資格を取得することにより、2020年の東京パラリンピックでトレーナーとして活躍することも可能であると考えられる。

本事業は、障害者スポーツトレーナーの有資格者が、本学の在学学生および卒業生の中で障害者スポーツトレーナーの資格を取得したい者を対象に、障害者スポーツトレーナーの資格取得に必要な知識や技術を教えることにより、今後、医療資格を取得した後、障害者スポーツトレーナーの資格の取得の一助となることを目的とした。

参加者は18人（男性17人、女性1人）であった。

障害者スポーツトレーナーの有資格者が、参加者に対して、障害者スポーツトレーナーの資格取得に必要な知識や技術を教えた。参加者は視覚障害を有する本学の学生および卒業生であるため、特にテーピング技術の習得が大変であることが推測されるため、テーピング技術の習得に時間を多くかけた。テーピング技術は、巻くのにかかる時間により、習得の程度を評価できるため、巻き方を覚えた段階で、一度足関節のテーピングを巻くのにかかる時間を計測し（初期評価）、その後練習を行い、再度時間を計測し（最終評価）、上達したかどうかを判定した。練習前後でのテーピングを巻くのにかかる時間の比較には対応のあるt検定を用いて、効果判定を行った。事業内容は、テーピング（足関節、足部、膝関節、手関節、手指、肘関節）の他、救急処置、コンディショニング（スポーツマッサージ、ストレッチング）などを行った。

テーピングの測定に関して、初期評価と最終評価のどち

らも測定をできた学生は9人（男性8人，女性1人）で，年齢 21.8 ± 3.4 歳であった。視覚障害に関する情報としては，視力が右 0.09 ± 0.02 ，左 0.10 ± 0.06 で，中心暗点2人，視野狭窄1人，羞明1人，眼振1人であった（重複者あり）。

結果は，初期評価時の時間は 319 ± 71 秒，最終評価時の時間 242 ± 35 秒であり，有意に改善がみられた。

本事業の結果より，視覚障害者においても，練習を積むことにより，スポーツトレーナーに必須の技術であるテーピン

グ技術を習得することが明らかとなった。今後の課題として，スポーツトレーナーの資格取得の基準である180秒以内にテーピングを巻くことができるように，テーピング技術習得希望者に対して指導を継続するとともに，その技術習得が可能かどうかを調査を行う必要がある。また，他のスポーツトレーナーに必要な技術に関しても，習得できるようなプログラムを作成していく。